

和太鼓部「唯風(いふう)」活動報告 2016年 3月～6月

(新しい記事が上になっています)

6月2日(木)本校体育祭

昨年は雨のため、セッティングするところまで行ったのに撤収しなければならなかった体育祭。「和太鼓部の演奏は雨のため中止します」というアナウンスが流れた瞬間の、「え～」という落胆の音が、今でも残っています。申し訳ない思いと、それとは逆に、「こんなに楽しみにしていたださったんだ」という、来年への励みといいましょうか、二つの気持ちで複雑だったのをありありと思い出します。

今年は、それとは打って変わった天候で、気温も低く、涼やかな風まで吹き、演奏にはうってつけでした。赤・青・緑・黄団の力作のたれ幕を正面に見ながら、新入生も加わって、ぎっしり駆けつけて下さった保護者の皆様の前で、演奏させて頂きました。ごくわずかの時間でしたが、温かい拍手を頂き、去年の分を少しでもお返しできたかと思います。新しいチームは、まだまだこれからですが、どうぞ応援よろしくお願いします。



5月8日(日)芥川交流会

和太鼓フェスタが4月実施となった関係で、今年の芥川交流会はこの時期となりました。



地元ではなすっかりおじみの行事です。

会場の芥川高校の食堂には、開始よりかなり早い時間から席取りのお客さまが！人気がしのばれます。

出演団体は、高校生だけでなく、高槻市の地元の青年団のチームや、高校の和太鼓部部員の保護者会のチームが発展した団体、和太鼓だけでなく邦楽や洋楽も取り入れて活動されているチームなど、和太鼓フェスタ以上に多彩で、ひとこと言うと「面白い」公演です。「そこでこうくるか！」「こんな表現があったんだ！」「チ

ームカラーをこうやって活かすのか！」など、感心しきりで、とてもスリリングな催しだ
と思います。

そして、イベントの最後には、長年芥川高校の顧問を勤められ、ご退職後も名誉顧問と
して同校を見守り続けていらっしゃる先生からの、懇切なアドバイス。太鼓をやっていら
っしゃらない方にも、聞いて頂くと公演の楽しみが増す、ありがたいおまけつきです。

準備と運営はすべて手作り、自校の公演の多忙の中を縫ってこの公演を開催して頂ける
ことに、改めてお礼を申し上げます。

4月11日(月)新入生歓迎会

年度初めの恒例行事は、いつもの『新入生歓迎会』。去年は客席にいた新二年生も、今年
は舞台の上です。また、卒業生なしで、新三年と、二学年だけで演奏する、初めての機会
です。新三年はその責任を果たすべく、少しときどきしながらも先輩らしく新二年生に接
しており、頼もしく感じられます。

体育館の舞台は公演重視で設計されていないので、舞台袖が上手しかなかったり、奥行
きが太鼓演奏にはかなり狭い、等の制約があります。しかし、与えられた条件の中で、い
かに引き立つ配置をし、いかに無駄なく美しく動けるか、いかにお客様に届けるか、工夫
をするには願ってもないシチュエーションです。今年「天と地」を、壮大に打つことにチャレンジ
しました。

(因みに、この催しは生徒会主催で、準備・企画か
ら、本番の運営も、すべて生徒の手で行われていま
す。生徒会のみなさん、お疲れ様でした。そして、
ありがとうございました。)

まだまだ緊張のとれない新入生の心に、私たちの
演奏が少しでも届いていたら、幸いです。



4月3日(日)和太鼓フェスタ

耐震工事のため今年度に延期された和太鼓フェスタ。何ととっても、これに参加しなけ
れば和太鼓部の一年は終わりません。
前記事にも書きましたように、おめで
たいことながら、入学式・入社式と日
程が重なり参加が叶わなかった卒業
生もいたのですが、その人たちも、心
の中で一緒に演奏しました。

今年は、芥川高校、大冠高校のOB



がそれぞれチームとして出場し、卓越した技を披露してくれました。常連のチームも、大人の方々はそのチームにしか出せない奥深い味わいを、高校生チームはフレッシュな躍動感、新鮮な創意工夫を、舞台いっぱいにくりひろげ、その対比もこの公演のみどころの一つです。本校は、部員たちが大好きな『巴』と、『海山道』を演奏させて頂きましたが、いろいろと勉強になりました。



ご来場下さったお客様方と、一年をかけ、じっくりと丁寧に準備をし、最後まで裏方に徹して私たちを支えて下さった現代劇場の係の方々に、深くお礼申し上げます。

来年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3月21日(祝)和太鼓部員保護者の皆さまのための演奏会

28期生も、いよいよ卒業となりました。部員数も、過去最多。メンバーは個性豊かな六人でした。

まだ寒さの残るこの日、三年間暖かく見守ってくださった保護者・ご家族の皆様をお招きして、ささやかな校内演奏会を行いました。

例年は三月に行われる高槻和太鼓フェスタが最後の舞台となるのですが、今年は会場の現代劇場が耐震工事のため四月実施となり、入学式などと重なるため、今日が最後の舞台となる



人も数人いました。打てる曲は全部打つという、てんこ盛りの内容でしたが、打ち手は皆心残りもなく、お客さまにもご満足いただけたかと思います。

この学年は二年生のときにルーマニア公演という大きなイベントを経験しました。その準備や費用の捻出に、特にご苦勞をおかけしたと思います。改めて、ご家族のご理解に感謝申し上げます。

その中で、ご家族の職場の同僚の方の親御様が、本校和太鼓部を大変可愛がって下さり、ルーマニア公演の際にもお世話を頂きました。しかし、ご病気となられ、楽しみにして頂いておりましたのに、演奏をじかに聴いていただくことはついに叶わぬこととなってしまいました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。部員たちが演奏に込めた思いが天国に届いていますように。私たちは、今後とも、太鼓が打てるしあわせに感謝しつつ、心と腕を磨いて参ります。どうぞ、お見守り下さい。